



高年齢者は
4年も
待てません!

「公約は口に苦し
と言いまして…」
てなわけで、



いま
すぐ
やめて!

後期高齢者医療制度



約束はどこへ…

高齢者の「後期高齢者医療制度は廃止して」の願いを一身に受けて、民主党は大躍進したはずなのに、「新たな地域単位での医療制度ができるまで廃止は先送り」ってどういうことなのでしょう。



2010年の保険料は大幅値上げ

2010年4月から、保険料は13.8%・平均8,556円もの引き上げが予定されています。「年齢で区別し」「年金からの天引き」を強制するなど、人権無視の制度で、さらに2年ごとの改定で保険料が自動的に上がり続けます。



まちがいを正さないのはダメ

厚生労働省は、高齢者のための新たな制度をつくる検討をはじめました。新たな制度にかこつけて、まちがいを正さないのは許せません。すべての人が必要な医療を安心して受けられるように、後期高齢者医療制度は一刻も早く廃止すべきです。

国会請願署名にご協力を

中央社保協

(中央社会保険推進協議会)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-5-3 KT淡路町ビル4F
TEL:03-5207-5818 FAX:03-5207-5820 E-mail:k25@shahokyo.jp

全日本民医連

(全日本民主医療機関連合会)

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F
TEL:03-5842-6451 FAX:03-5842-6460 E-mail:min-iren@min-iren.gr.jp
URL:http://www.min-iren.gr.jp/

後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、 高齢者・国民が望む医療制度をめざす 国会請願署名

2010年 月 日

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

紹介議員

請願趣旨

後期高齢者医療制度は高齢者を差別し、大きな負担を強いる「悪法」です。2010年4月からは、2年ごとの見直しが必要な保険料の引き上げが予定されています。自公政権時代に決定した70歳～74歳の高齢者の医療費窓口負担増(1割→2割)「凍結」措置や、扶養家族で保険料負担軽減など、各種の軽減措置も「終了」の時期を迎えます。こうした「悪法」は一刻も早く廃止すべきです。

請願項目

- 1.後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、もとの老人保健制度に戻すこと。
- 2.その際、保険料の負担増が生じないように、国民健康保険への国庫負担金を増やすことなど必要な財政措置を講じること。
- 3.70歳～74歳の高齢者の医療費窓口負担を原則1割にすること。
- 4.国庫負担金を増やし、75歳以上高齢者の医療費窓口負担をなくすこと。



氏 名	住 所

※この個人情報(住所)は請願以外には使用しません。

取扱
団体

中央社保協
(中央社会保険推進協議会)

〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町1-5-3 KT淡路町ビル4F
TEL: 03-5207-5818 FAX: 03-5207-5820
E-mail: k25@shahokyo.jp

全日本民医連
(全日本民主医療機関連合会)

〒113-8465
東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F
TEL: 03-5842-6451 FAX: 03-5842-6460
E-mail: min-iren@min-iren.gr.jp URL: http://www.min-iren.gr.jp/